

小樽商科大学附属図書館主催 市立小樽図書館後援

ゆめぼーとライブ 第9弾

嘉瀬達男

小樽商科大学准教授

平成23年7月22日(金) 18:00-19:30

定員: 20名(先着順) 入場無料



= 嘉瀬達男先生からのメッセージ =

『史記』はすぐれた歴史書として長く読み継がれてきました。しかし最近では、歴史書らしからぬ書物と考えられています。なぜなら講談や戯曲、小説、歌のような虚構の作品が『史記』の材料になっていると判明したからです。どうして『史記』は虚構の作品を取り入れ、歴史的記録とともに記したのでしょうか。司馬遷をはじめとする『史記』の作者たちは、「歴史」というものをどのように考えていたのでしょうか。『史記』の序文を中心に、130篇全体の構成をたどりながら探ってみます。

また『史記』は成立当時、特異な書物と受け止められ、禁書にまでされました。それが後世、名著に数えられるようになった経緯も知る必要があります。そして今、どのように『史記』を読むべきなのか、皆さんと考えたいと思います。

場所: 小樽商科大学駅前プラザ「ゆめぼーと」
小樽市稲穂3丁目3-1
小樽グリーンホテル別館2階



申込先・問合せ先: 小樽商科大学附属図書館閲覧係

0134-27-5273 lib-unyo@office.otaru-uc.jp

『史記』の読み方、 作り方

司馬遷たちの考えを探って



小樽商科大学附属図書館